

明和町文化財年報

—平成 29 年度—

平成 31 年（2019）3 月

三重県多気郡明和町



整備された板本古墳公園

＜例 言＞

1. 本書は、平成 29 年度の明和町における文化財保護業務に関する調査成果等の概要について報告するものである。
2. 本書の作成は、斎宮跡・文化観光課の味噌井拓志が行った。
3. 本書に用いた座標は世界測地系に基づく。
4. 土層の色調は、日本色研事業株式会社発行の『新版標準土色帖』に拠った。
5. 年月日の表記について、平成29年度内であれば基本的に月日のみで表記している。

＜目 次＞

第 1 章 組織と業務	1	第 5 章 埋蔵文化財	
1. 組織		1. 周知の埋蔵文化財包蔵地	
2. 事務分掌		2. 主要調査の概要	
第 2 章 指定文化財	1	第 6 章 その他の文化財・文化遺産	15
1. 明和町の指定文化財		1. 伊勢街道	
2. 明和町文化財保護審議会		2. 民俗	
3. 届出関係・修繕など		第 7 章 事業	15
4. 調査など		1. 史宮跡史跡等買上げ（直接買上げ）事業	
第 3 章 史跡	2	2. 町内遺跡発掘調査	
＜史跡斎宮跡＞		3. 斎宮跡指定管理委託	
1. 現状変更許可申請		4. 歴史的風致維持向上計画事業	
2. 活用		5. 日本遺産魅力発信推進事業	
第 4 章 史跡		6. 啓発事業	
＜史跡斎宮跡＞		7. さいくうあと通信	
1. 現状変更許可申請		第 8 章 活用・普及・啓発など	18
2. 活用		1. 取材対応など	
＜史跡水池土器製作遺跡＞		2. 資料調査対応	
1. 活用		3. 貸出・提供	
＜県指定史跡坂本古墳群＞		5. 講座・説明会・イベントなど	
第 4 章 天然記念物	6	6. 文化財保護団体などの活動	
1. 斎宮のハナショウブ群落		関連新聞記事一覧	
		附編 指定文化財一覧	23

第1章 組織と業務

1. 組織

明和町の文化財保護行政について、平成29年度は下記の体制で業務にあたった。

斎宮跡・文化観光課（町長部局）

課長：中野 敦夫

・文化財係

文化財係長：中瀬 基司

職員：乾 哲也（文化財技師）、山本 歩美、味噌井 拓志（文化財技師）

臨時職員：1名

発掘調査作業員：12名（※登録）、（受託事業8名）

発掘調査整理作業員：1名、（受託事業5名）

斎宮のハナショウブ群落：8名（※登録）

・文化観光係（観光の振興に関すること、歴史文化観光のまちづくりに関すること）

文化観光係長：森下 純、職員：室岡 伸英

2. 事務分掌（文化財係）

- （1）指定文化財に関すること
- （2）文化財の活用に関すること
- （3）いつきのみや歴史体験館に関すること
- （4）史跡公園の管理に関すること
- （5）その他文化財に関すること

第2章 指定文化財

1. 明和町の指定文化財

指定件数

平成30年3月31日現在

区分	有形							無形	記念物		合計
	建造物	絵画	書跡	彫刻	工芸品	古文書	考古資料	民俗文化財	史跡	天然記念物	
国				1			1		2	1	5
県		2	2		4	3	9		1		21
町	2			8	1	4	1	7	5		28
合計	2	2	2	9	5	7	10	7	8	1	54

2. 明和町文化財保護審議会

委員名簿

(平成28年4月1日～平成30年3月31日)

氏名	専門分野	氏名	専門分野
下村 登良男 (会長)	考古	中谷 真弓	民俗
三田 正之 (副会長)	郷土史	渡邊 幸宏	郷土史
倉田 直純	斎宮跡	藤田 直信	美術史
高橋 徹	建造物	西村 由美子	郷土史
千枝 大志	近世史	福山 知子	郷土史

- ・平成29年度 第1回明和町文化財保護審議会

日時：平成29年12月18日 場所：明和町役場 大会議室

出席：8名 欠席：2名

<議題>

- ・指定候補文化財の現地視察報告について
- ・文化遺産総合活用推進事業について
- ・その他

- ・平成29年度 第2回明和町文化財保護審議会

日時：平成30年3月26日 場所：明和町中央公民館 小会議室

出席：7名 欠席：3名

<議題>

- ・指定候補文化財の現地視察報告について
- ・その他

3. 届出関係、修繕など

町指定無形民俗文化財の大淀の祇園祭のうち宵宮である東区について、公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団が実施している「地域の伝統文化」より幟旗用杉丸太購入費（22万円）の助成を受けた。

4. 調査など

平成29年7月9日：佐田西出地区 津島のお社塔に関する民俗調査（中谷文化財保護審議委員）

平成29年2月7日：明星地区 轉輪寺所藏曼荼羅図等調査（藤田文化財保護審議委員）

平成30年2月11日：前野地区 前野のお頭神事の現況確認

第3章 史跡

<史跡斎宮跡>

1. 現状変更許可申請

文化財保護法第125条第1項の規定による史跡名勝天然記念物現状変更の申請は37件あった。発掘調査を実施したものの一部は、国庫および県費の補助金を受けた。また、調査は明和町が主体となり、斎宮歴史博物館および明和町斎宮跡・文化観光課が現地調査を担当した。なお、平成29年度の調査結果の概要は『史跡斎宮跡 平成29年度 現状変更緊急発掘調査報告』を参照されたい。

2. 活用

史跡斎宮跡内では年間を通じてさまざまな活用がなされている。以下に主なものの実施日と参加者数を列記する。

- ・斎王まつり【斎王まつり実行委員会】 6月3日(土)・4日(日) 約30,000人
- ・日本の技体験フェア【文化庁】 9月30日(土)・10月1日(日) 約8,400人
- ・みえ技能祭 ものづくり子どもフェスタ ※上記イベントと合わせて開催
- ・いつきのみや観月会【(公財)国史跡斎宮跡保存協会】 9月30日(土) 約5,500人
- ・追儺のまつり【(公財)国史跡斎宮跡保存協会】 12月23日(土・祝) 約450人
- ・いつきのみや春絵巻【(公財)国史跡斎宮跡保存協会】 2月25日(日) 約1,000人
- ・いつきのみや梅まつり【明和町観光協議会】 3月3日(土) 約3,000人
- ・熱気球係留フライト体験【明和町】 3月3日(土) 257人搭乗
- ・こどもわいわいフェスティバル【明和町日本遺産活用推進協議会】 3月21日 約1,000人
- ・さいくう市 毎月第1・第3日曜日に開催

日本の技体験フェア

9月30日(土)、10月1日(日)に、いつきのみや地域交流センターを会場として文化庁主催の「日本の技体験フェア」が開催され、選定保存記述保存団体31団地による展示・実演・体験が行われた。イベント当日は、

(一社)三重県技能士会主催の「みえ技能祭ものづくり子どもフェスタ」が合わせて開催され、野菜の飾り切りの実演や恐竜鬼瓦作りなどが行われました。また、さいくうマルシェも開催され、手作りの雑貨やアクセサリなどの販売が行われた。





恐竜鬼瓦作りの様子



四條流庖丁儀式の実演

みえ技能祭 ものづくり子どもフェスタ

「斎宮跡と久留倍官衙遺跡」

斎宮歴史博物館・四日市市・明和町が主催してシンポジウムを開催した。これは、史跡斎宮跡と史跡久留倍官衙遺跡に関わる明和町と四日市市との連携協定に基づくもので、詳細は下記のとおり。

シンポジウム「斎宮跡と久留倍官衙遺跡」

11月25日（土）「壬申の乱と斎宮」 於：四日市市博物館

「斎宮跡の整備と日本遺産」明和町斎宮跡・文化観光課 中野 敦夫 ほか

2月3日（土）「斎宮と壬申の乱」 於：さいくう平安の杜

「斎宮前夜の明和町」明和町斎宮跡・文化観光課 乾 哲也 ほか

・公園利用

利用申請件数 15 件（申請の内、4 件はゲートボールなど年間を通じて定期的に利用）

なお、小学校など教育機関については、当課が把握しているだけのべ24校、1169名の利用があった。

・ライトアップ

さいくう平安の杜の正殿など3棟の復元建物のライトアップを開始。（日没から近鉄終電までの時間に実施）

・古代衣装製作

洋裁同好会の協力を得て、斎宮跡内で来訪者が楽しめるよう、古代装束を製作した。



主催：斎宮歴史博物館・明和町・四日市市



シンポジウム（2月3日）

<史跡水池土器製作遺跡>

1. 活用

・斎王参向古道まつり【斎王参向古道まつり実行委員会】 11月12日（日） 約1,400人



<県指定史跡坂本古墳群>

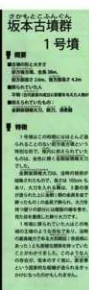
平成27年度から実施していた歴史的風致維持向上計画事業に基づく公園整備が完了し、「坂本古墳公園」として平成30年1月20日から一般開放を行った。

完成に合わせて役場担当職員による説明会を平成30年1月20日に開催し、町内外から70名の参加があった。また、古墳公園を広く知ってもらうため、リーフレットを作成し、関係施設等で配布していく。

来年度以降の公園管理については、地元坂本自治会にも協力いただく予定である。



公園オープンを記念した説明会の様子



作成したリーフレット

第4章 天然記念物

1. 斎宮のハナショウブ群落

『斎宮のハナショウブ群落保存管理計画』（平成22年度策定）に基づき、給水および雑草の除却や周辺の草刈りなどを実施した。管理は東野自治会に委託するとともに、当課作業員により行った。

また、当該文化財の啓発及び指定地来訪者の文化財への理解を促進する目的で、チラシを作成した。チラシは毎年作成しており、町内全戸回覧したほか、指定地および関係施設に設置した。



ノハナショウブの分布状況（平成29年3月時点）



配布チラシ

・開花状況

	一輪目	咲き始め	満開	終了
H29 (2017)	6月2日	6月2日	6月13日	6月23日
H28 (2016)	5月24日	5月26日	6月6日	6月20日
H27 (2015)	5月25日	5月25日	6月4日	6月16日
H26 (2014)	5月28日	5月29日	6月10日	6月23日
H25 (2013)	5月16日	5月20日	5月31日	6月18日

第5章 埋蔵文化財

1. 周知の埋蔵文化財包蔵地

・届出件数

文化財保護法第93条第1項の規定による土木工事等発掘届出の受理：17件

文化財保護法第94条第3項の規定による協議：2件

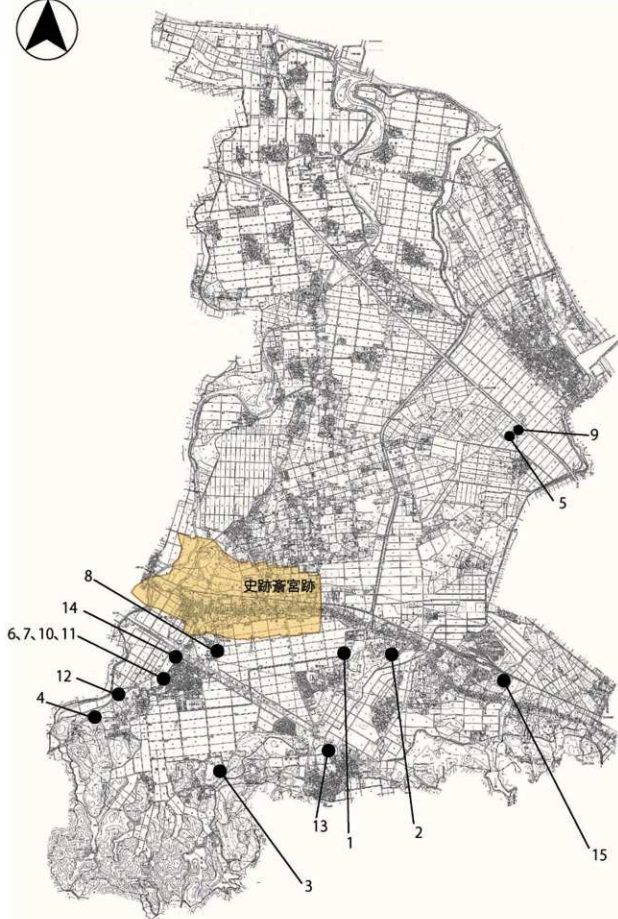
・発掘調査

調査は明和町斎宮跡・文化観光課が行った。平成29年度の緊急発掘調査は15件で、下記一覧表のとおりである。調査の内、№1、9、11、12について次節で概要を報告する。ただし、報告の内容は現在も整理中のため、あくまで暫定的なものである。また、戸塚B遺跡の発掘調査については、本書とは別に調査報告をまとめる予定である。

平成29年度 緊急発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積 (㎡)	申請者名	備考
1	北野遺跡	富宮字大頭 934 番 1	4月3日～6月9日	32	個人	粘土層土坑
2	安養寺跡隣接地	上野字東ノ堀外 414-2	4月10日	3	個人	ピット
3	戸塚B遺跡（試掘調査）	池村字戸塚 212 番ほか	4月12日～4月28日	191	池田建設（株）	土師器焼成坑、竪穴建物、掘立柱建物等
	戸塚B遺跡		5月11日～9月15日	1000		
4	コドノB遺跡	上村字ウシバ 1165 番 2 ほか	4月24日	3	個人	遺構・遺物なし
5	早登遺跡	大詔字早登 1725-1	4月25日～ 9月4日	80	個人	遺構なし
6	金剛坂遺跡	金剛坂字辰ノ口 751-54 番	5月9日	4	個人	方形周溝墓か
7	金剛坂遺跡	金剛坂字辰ノ口 751-55 番	5月18日	4	個人	溝か、遺物なし
8	露穂遺跡	竹川字南裏 202-8	6月27日	4	個人	遺構・遺物なし
9	早登遺跡	大詔字早登 1684、1685-1	11月10日～11月27日	150	個人	方形周溝墓か
10	金剛坂遺跡	金剛坂字辰ノ口 751-53	1月19日	3	個人	溝
11	金剛坂遺跡	金剛坂字辰ノ口 751-52	2月2日	5	個人	方形周溝墓か
12	城堀遺跡（範囲確認）	上村字城堀 1246 番 1	12月4日～12月6日 2月9日～2月16日	1322	個人	土壁か、測量調査のみ
13	五反田遺跡隣接地 （範囲確認）	有雷中字五反田 167 番地ほか	3月13日～4月18日	120	スーパーサンシ （株）	旧道路を確認
14	金剛坂遺跡	金剛坂字古堀内 780 番 3	3月22日	3	個人	遺構・遺物なし
15	明星牛場B遺跡	明星字牛場 2195 番 2	3月28日	3	KDDI 株式会社	遺構・遺物なし

（※網掛けの調査について概要を記載）



2. 主要調査の概要

No.1

遺跡名：北野遺跡

遺跡番号：228

調査地：明和町大字斎宮字大頭 934 番 1

事業主体：個人

調査原因：個人住宅

費用負担：原因者

調査機関：明和町斎宮跡・文化観光課

担当者：味噌井拓志

調査期間：平成 29 年 4 月 3 日～6 月 9 日

調査面積：約 32 ㎡

【概要】

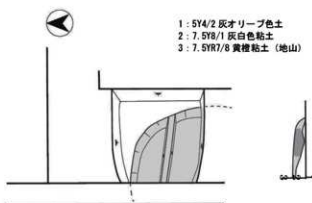
個人住宅建設に伴う浄化槽や外構工事等に先立ち発掘調査を実施し、土坑 1 基を確認した。土坑は 1.7m 以上×1.6m 以上の円形状を呈し、深さは出面から約 0.2 m である。埋土には大量の灰白色粘土が含まれており、土師器の甕などの破片が出土した。遺物は奈良時代に属するものと考えられる。

今回の調査地点は南から北へ派生する舌状の丘陵地形の縁辺にあたり、北野遺跡の西端部である。調査地の西側には明野台地の中でもかつて氾濫平野が広がっていた箇所であり、現在は水田が広がっている。北野遺跡はこれまでの発掘調査で奈良時代を中心とした土師器焼成土坑が集中して見つかった。今回検出した土坑埋土の粘土は、近傍から採取され、土器生産に用いるために一時的に保管されていた可能性がある。



調査地位置図 (1:5000)

平成 29 年度数値地形図成果 (三重県市町総合事務組合)



遺構平面図 (1:80)

※トーンの部分は粘土が含まれていた部分



遺構掘削状況 (北から)



土坑断面 (粘土部分)

No. 9

遺跡名：早登遺跡

遺跡番号：246

調査地：明和町大字大淀字早登 1684、1685-1

事業主体：個人

調査原因：個人住宅

費用負担：明和町

調査機関：明和町斎宮跡・文化観光課

担当者：味噌井拓志

調査期間：平成 29 年 11 月 10 日～11 月 27 日

調査面積：150 m²

【概要】

個人住宅の建設に伴い、住宅の基礎部分につ

いて工事立会を実施したところ遺構が確認されたことから、明和町において家屋の建設箇所の発掘調査を実施した。

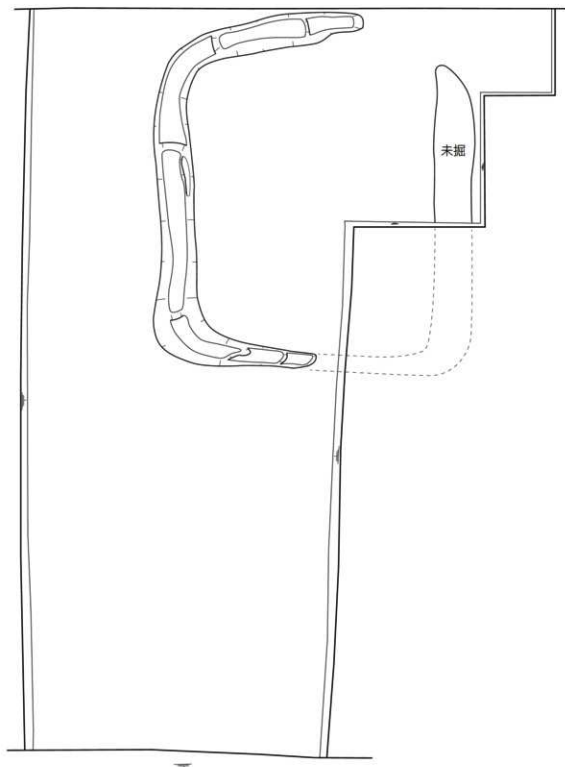
調査区の北側で、コの字状を呈する溝を確認した。溝は北西部と南西部で屈曲するもので、溝の規模は 0.4 m～0.8 m で、深さ約 0.2～0.5 m と一定しない。溝の性格を判断するため調査区の一部を東側へ拡張したところ、南北に延びる溝の一部を検出した。先に検出した溝の一部と並走し、溝の規模も同程度で四周を画するような状況が看取されることから、方形周溝墓ないし古墳の周溝である可能性が考えられる。溝からは土器の細片しか出土しておらず明確な時期は断言しがたい。ただし、北東のコーナー部分で周溝が途切れる平面プランであることから、弥生時代後期の方形周溝墓である可能性が考えられる。仮に方形周溝墓である場合、周溝の内々間で東西約 5.5 m 南北約 7.1 m の規模でやや長方形を呈するプランである。



調査地位置図 (1:5000)

平成 29 年度数値地形図成果 (三重県市町総合事務組合)





No.11

遺跡名：金剛坂遺跡

遺跡番号：36

調査地：明和町大字金剛坂字辰ノ口 751-52

事業主体：個人

事業原因：個人住宅

費用負担：原因者

担当者：乾哲也・味噌井拓志

調査期間：平成 30 年 2 月 2 日

調査面積：5 m²

【概要】

個人住宅建設に伴う浄化槽設置に先立ち発掘調査を実施し、溝 2 条を確認した。溝 1 は調査区の東から北へ向けて屈曲して伸びるもので、幅約 1 m、深さ約 0.3～0.4 m である。調査区が狭隘なため断定はできないものの、溝は直角に近いかたちで屈曲するものと推定される。溝の底部付近から弥生土器の臺がほぼ完形に近い形で出土している。本申請地の宅地造成事業にあたって平成 27 年度に第 15 次調査を実施して弥生時代後期の方形周溝墓が 2 基確認されている。今回検出した溝は第 15 次調査の溝と直接関係ないものの、別の方形周溝墓に伴う周溝の一部である可能性がある。溝 2 は調査区の北壁での断面観察では溝 1 を切るもので、南から北へ弧状を呈しながら伸びるもので、幅約 0.7 m、深さ約 0.2 m である。時期の詳細は出土遺物がなく不明である。

遺構掘削状況（南から）

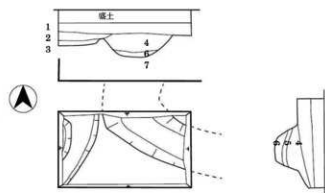


調査状況



調査地位置図（1：5000）

平成 29 年度数値地形図成果（三重県市町総合事務組合）



遺構平面図（1：80）

- 1：7.5YR4/2 灰褐色土（包含層）
- 2：7.5YR2/1 黒色土
- 3：7.5YR3/1 黒褐色土（地山由来の粒子含む）
- 4：10YR2/1 黒色土（周溝）
- 5：10YR3/1 黒褐色土（周溝、地山由来のブロック含む）
- 6：10YR4/1 褐灰色土（周溝）
- 7：7.5YR6/6 橙色粘土（地山）

No.12

遺跡名：城堀遺跡

遺跡番号：170

調査地：明和町大字上村字城堀 1246 番 1

事業主体：個人

調査原因：太陽光発電

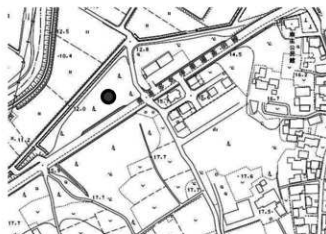
費用負担：明和町

調査機関：明和町斎宮跡・文化観光課

担当者：乾哲也・味噌井拓志

調査期間：12月4日～6日、2月9日～16日

調査面積：1322 m²



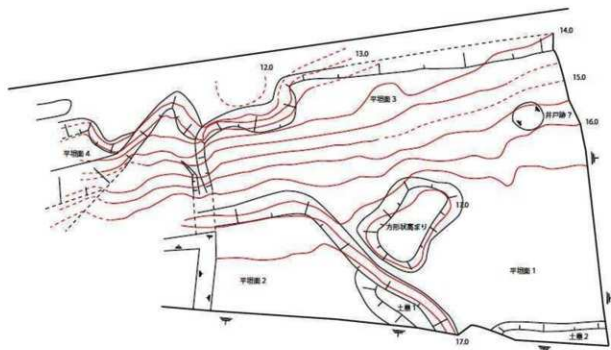
調査地位置図 (1:5000)

平成29年度数値地形図成果 (三重県市町村総合事務組合)

【概要】

明和町大字上村地内における太陽光発電に伴うものである。周辺ではこれまでの発掘調査で中世の城館に伴う可能性のある土塁が確認されており、当該申請地内でも職員が踏査したところ類似の遺構が目視されたため、事業地全体の地形測量を実施することとした。

調査では土塁状の高まりを2カ所、平坦面を4カ所、方形状の高まり1カ所が確認できた。土塁1としたものは、三重県埋蔵文化財センターの発掘調査で確認された土塁の一部である。今回の測量範囲で収束し、平坦面2に繋がる。平坦面1と平坦面3の間は緩やかに傾斜しており、明確な段差は認められない。調査区の東端付近で円形の窪みが見られた。直径は約3mで、あるいは素掘りの井戸跡の可能性もある。平坦面3と平坦面4の間には袋状に斜面が削られた箇所があり、斜面がスロープ状になっている箇所がみられた。北側を流れる蔵川や斜面下の水田へアクセスするための出入り口の機能があったのかもしれない。今回確認できた平坦面は北側の傾斜面に対して人為的に造成されたものであると思われる。ただし、これらの平坦面が城館に伴うものなのか、あるいは近現代の農林業



城堀遺跡 発掘調査平面図 (1:400)

に伴うものなのか判断できない。また、平坦面1の西側では、方形状を呈する地形の高まりが確認できた。三重県埋蔵文化財センターの周辺での調査で弥生時代の方形周溝墓が見つかっており、本例も墳丘の一部である可能性も考えられる。なお、調査にあたっては三重県教育委員会社会教育・文化財保護課の竹田憲治氏および高松雅文氏に現地でご指導を受けるとともに、三重県埋蔵文化財センターから測量機材の提供を受けた。今回測量調査で確認された凸状の遺構については事業者と協議の上、削平をしないととも太陽光発電施設の設置を避け、現況のまま保存することとなった



土塁1（東から）



平坦面2（西から）



平坦面2（南から）



平坦面3（東から）

第6章 その他の文化財・文化遺産

1. 伊勢街道

6月16日：史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会 国土交通省まちづくり功労者表彰

9月12日：伊勢街道ウォーク

12月2日：伊勢街道ウォーク

2. 民俗

10月4日：養村地区 光雲寺什物調査

12月19日：竹川地区 ものとうに関する聞き取り調査

第7章 事業

1. 史 斎宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）事業（公有地化事業）

83,033,700円（内、国補助：66,426,000円、県補助：12,454,000円）

史跡斎宮跡の保存を図るため、国庫補助および県費の補助金を受けて、12件（公簿面積 3,417.00㎡、82,644,900円）の公有地化を行った。

2. 町内遺跡発掘調査

・史 町内遺跡 発掘調査等事業 2,443,332円（内、国補助：1,155,000円、県補助：269,000円）

・歴史的風致維持向上計画推進事業に伴う発掘調査 184,080円（6件、449.9㎡）

・埋蔵文化財緊急発掘調査（一般）（15件、2,735㎡）

3. 史跡および施設の管理

・公園管理委託（30,224,000円）

・いつきのみや歴史体験館・いつきのみや地域交流センター指定管理委託

（45,715,000円 内、県補助：18,938,000円）

公園管理、いつきのみや歴史体験館およびいつきのみや地域交流センターの運営管理、施設管理については公益財団法人斎宮跡保存協会へ委託し、管理を行った。

4. 歴史的風致維持向上計画事業 506,654,996円（内、国補助：184,353,000円）

中部歴史まちづくりサミット、下園東区画広場整備事業、多言語案内看板設置、祓戸広場整備工事、情報板整備工事等

平成28年度に完成したいつきのみや地域交流センター周辺の外構工事として下園東区画広場を整備した。さいうく平安の杜との一体的な活用や、車での史跡来訪者の起点となることが期待される。

また、10月18日にいつきのみや地域交流センターを会場にして「第5回中部歴史まちづくりサミット」が開催された。サミットでは、基調講演を明和町歴史的風致維持向上計画協議会会長の増渕徹氏がを行い、国土交通省中部地方整備局管内で歴史的風致維持向上計画の認定を受けている12市町の首長らが集まり、歴史的資産の持続的形像や外国人観光客への対応、回遊性の向上などをテーマに意見交換を行った。



整備された下園東区面広場



中部歴史まちづくりサミット

6. 日本遺産魅力発信推進事業（日本遺産「斎宮」活用推進事業） 4,824,213 円

平成 28 年度に引き続き文化庁の補助を得て近鉄電車のラッピング運行の実施や、109 シネマズ明和で映画上映前の CM 放映を実施し、日本遺産「折る皇女斎王のみやこ 斎宮」を啓発した。また、3 月 21 日に協議会加盟の各団体の協力も得てこどもわいわいフェスティバルを開催した。

7. 啓発事業

企画展示「明和町の海と遺跡」

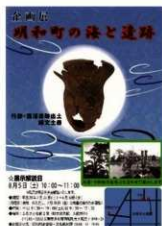
場所：明和町ふるさと会館 会期：7 月 22 日～8 月 30 日 観覧者数：160 名

< 展示説明会 > 8 月 5 日 10:00～11:00 参加者数：38 名

< 関連イベント >

9 月 10 日 8:30～10:30 健康ウォーク大淀地区：参加者数：34 名

（主催長寿健康課・明和町楽しく歩こう会）大淀地区の遺跡および日本遺産の見学企画展に合わせて明和町文化財解説シート「明和町の海と遺跡」No.1・2 を作成した。本企画展は三重県の地域文化財総合活性化事業の補助を受けて開催した。



展示説明会（左）、関連イベント（右）

8. さいくうあとと通信

斎宮跡および町内の文化財への関心を高める目的で、平成 29 年度は下記の内容で 4 回発行し、町内全戸へ配布を行うとともに斎宮歴史博物館など各施設へも設置した。配布した通信は、役場ホームページに掲載し、広く町内文化財の啓発を行っている。

号数	発行日	タイトル
22	11 月 1 日	表：下園東区画広場の整備が完了しました！ 裏：日本の技体験フェア、みえ技能祭 ものづくり子どもフェスタ
23	12 月 14 日	戸塚 B 遺跡を発掘調査しました!!
24	2 月 8 日	県指定史跡・坂本古墳群を「坂本古墳公園」として整備しました!!
25	3 月 30 日	表：史跡公園斎宮跡 樹木の見ごろ一覧表 裏：コラム 歴史の道から探る王朝人の想い③



平成 29 年度に刊行した「さいくうあとと通信」

第8章 活用・普及・啓発など

1. 取材対応など

- 4月7日：松阪記者クラブ 記者会見（日本遺産 小学生向けパンフレット作成について）
- 4月14日、19日：夕刊三重取材
- 4月19日、24日：NHK 問い合わせ
- 7月21日：行政チャンネル 企画展取材対応
- 9月14日：個人 日本遺産構成文化財について
- 9月20日：三重テレビ放送 旬感みえ出演
- 10月：個人 町内の古墳について
- 10月26日：個人 「頓部姓」について
- 12月：月刊『旅の手帖』1月号 日本遺産紹介
- 12月：夕刊三重 正月特集号「明和町の狛犬」
- 1月15日：個人 安養寺の歴史について
- 1月20日：明和町行政チャンネル 坂本古墳群史跡公園オープン（2/1～2/8 放送）
- 2月7日：松阪ケーブルテレビ 「空から見れば」 斎宮跡周辺の上空撮影
- 3月7日：個人 指定文化財について
- 3月28日：個人 大淀地区の歴史について
- 3月28日：三重テレビ放送 特別番組「宝刀～日本人の魂と技～」坂本1号墳出土金銅装頭椎大刀の撮影

2. 資料調査対応

- 9月13日：早稲田大学建築学科 学生 伊勢街道に関するアンケート調査
- 3月19日：神前山1号墳、高塚1号墳、大塚1号墳、辰ノ口古墳群出土の埴輪の閲覧対応

3. 貸出・提供

- 年間：斎宮歴史博物館 水池土器製作遺跡出土土師器計4点 常設展にて展示
- 年間：安養寺 安養寺跡の発掘調査出土品（青磁香炉など計18点）の展示
- 元興寺研究所 金銅装頭椎大刀レプリカ 展示貸出
- 4月10日：株式会社EBM 会員誌『さやん』39号 日本遺産画像提供
- 10月13日：明和町郷土史同好会 文化祭に向けて資料提供（土師器焼成坑）
- 11月1日～7日：菰野町教育委員会教育課 ショップ資料の提供
- 1月28日：伊勢湾弥生土器研究会 金剛坂遺跡出土土器間覧対応
- 3月5日：三重テラス 日本遺産パネル等貸出
- 3月10日：近鉄ウォーキング 坂本古墳公園画像提供
- 3月24日：斎宮歴史博物館 西脇殿フォーラム 坂本1号墳発掘調査画像の提供
- 3月31日～4月27日：伊勢志摩サミット記念館サミエール 明和町（日本遺産）PR パネル等展示

4. 講座・説明会・イベントなど

- 夏季：大学生インターン受け入れ
- 7月25日：明和町郷土史同好会 町内における古代の土師器生産について解説

- 8月4日：斎宮小学校教員研修
- 9月5日：匠の技 学校キャラバン（斎宮小学校5年生）
- 9月13日：三重県教育委員会社会教育・文化財保護課、広瀬和雄氏ら坂本古墳群視察案内
- 9月19日：匠の技 学校キャラバン（修正小学校）
- 9月24日：斎王まつり実行委員会 日本遺産構成文化財の解説
- 10月10日：10ヵ国代表 斎宮跡等案内
- 11月15日：多気郡協議会議員視察対応
- 11月16日：中央公民館 寿大学解説（轉輪寺、安養寺）
- 11月18日：風景街道フォーラム（奈良県桜井市）出席
- 11月21日：中央公民館 女性大学解説（轉輪寺、安養寺）
- 11月22日：多気郡教育委員視察対応 日本遺産解説
- 1月26日：文化財防火デー 消火訓練 いつきのみや地域交流センター、さいくう平安の杜、いつきのみや歴史体験館にて実施（呉竹倶楽部参加）
- 1月28日：伊勢湾弥生土器研究会 金剛坂遺跡の発掘調査概要の発表
- 2月8日：京都府与謝野町、島根県津和野町視察対応 さいくう平安の杜等解説
- 2月12日：明和町郷土文化を守る講演「蘇った坂本古墳群」
- 3月5日：三重テラス「三重の宝トーク 三重の日本遺産－斎宮・忍者－」において、日本遺産の説明対応等



5. 文化財保護関係団体などの活動

・史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会

- 6月16日：史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会 国土交通省まちづくり功労者表彰
- 6月20日：国土交通省まちづくり功労者表彰 知事報告
- 9月12日：伊勢街道ウォーク
- 11月4日・5日：伊勢街道古写真展
- 11月18日：伊勢街道交流フォーラムで活動内容の発表
- 12月2日：伊勢街道ウォークラリー

・史跡斎宮跡の植栽（町民等参加）

- 7月8日：コスモスの種まき
- 8月19日：そばの種まき
- 10月28日：菜の花種まき

・いつきのみやガイドボランティア

年間ガイド人数：1,251件、5,034名

・斎王紙芝居かわせみ座

- 9月14日：斎宮小学校3年生
- 10月24日：明星小学校

なお、かわせみ座の活動については三重県の地域文化財総合活性化事業の補助を受けた。

・明和町職員労働組合

- 5月27日：明和町職員労働組合青年部 約30名 斎王まつり前にさいくう平安の杜清掃活動



関連新聞記事一覧

※当課で把握できた文化財係に関連する新聞記事等を基に作成した。把握できたもの以外にも関連記事がある可能性がある。

日付	新聞社	見出し
4月8日	中日新聞	日本遺産知って 小中生向けパンフ作る
4月8日	伊勢新聞	明和町で日本遺産活用推進協 小学生向け寄宮パンフ作製
4月10日	夕刊三重	全国2例目、競技かるた 寄宮のまち 13人初練習 明和町スポ少として発足
4月15日	夕刊三重	寄王、より親しみやすく 小中学生向けにパンフ制作
4月12日	朝日新聞	寄王の物語漫画に 小中学生向け 配布
4月20日	夕刊三重	日本遺産寄宮 看板で分かりやすく史跡など12か所に設置
4月27日	夕刊三重	奈良〜平安の古代衣装完成 洋服同好会手作り タイムスリップして町歩き 明和町観光の目玉に
5月2日	読売新聞	学生発案 明和町観光パンフ 皇學館大と町「寄宮路」の歴史紹介
5月22日	中日新聞	明和で初全日本シニアかるた 札取り合い「パン！」
5月23日	読売新聞	シニアかるた愛好家競う 札めがけ競たたく音
5月25日	中日新聞	「寄王まつり」ヒロインPR
5月25日	中日新聞	いつきのみや歴史体験館に 情報システム・J・T 豪華華の御覧を寄贈
5月26日	夕刊三重	「寄王まつり広めたい」 寄王役の中前さんが鈴木知事を表敬訪問
5月30日	中日新聞	スマホ用解説アプリ 寄宮歴史博物館が開発
5月31日	夕刊三重	伊勢街道まちづくり会国交大臣賞を受賞 明和町の地域住民県、町と連携し活動10年間の町おこし評価
6月2日	夕刊三重	第35回 寄王まつり
6月3日	伊勢新聞	緑輪陶器5点を展示 寄宮博物館で6日から
6月5日	朝日新聞	寄王群行 優雅に
6月5日	中日新聞	あでやか寄王群行
6月5日	伊勢新聞	寄王群行を再現 みやびな姿、見物客楽しむ
6月5日	夕刊三重	コース変え、「親の儀」復活 華やかに寄王まつり見物客3万人でにぎわう
6月5日	毎日新聞	あでやかな時代給養随所に 群行に行業客から歓声
6月15日	中日新聞	心響くハナショウブ 明和町花上品に 6000株が咲き誇る 寄宮路で見頃
6月16日	中日新聞	観光振興実った努力 明和の地域おこし団体 きょう国交大臣表彰
6月20日	夕刊三重	直径2メートル、茅の輪作り 明和町中材の島田神社で厄除け祈願の「夏越の祓」で
6月21日	伊勢新聞	旧伊勢街道振興で大臣賞 明和町の団体、好事に報告
6月21日	中日新聞	明和の寄宮路まちづくり会 国交大臣表彰を報告
6月22日	毎日新聞	三重の埋蔵文化財 全国最大の土師器生産遺跡 北野遺跡
6月24日	中日新聞伊勢志摩ホームニュース	古代装束で日本遺産散策 明和町寄宮周辺
6月27日	夕刊三重	古代装束着て散策を 明和町地域交流センター 夫婦一組が初体験
7月1日	中日新聞	・高級白磁など初披露 歴史博物館 発掘調査の速報展 ・緑輪陶器の色合い感じて国重要文化財5点も展示
7月6日	夕刊三重	調査技術で地域に一段 明和町寄宮の西脇殿で 宇田さん、(呉竹倶楽部) 手作り文鎮が好評
7月14日	夕刊三重	害虫払い豊作祈る 明和町貴村で伝統の虫送り

日付	新聞社	見出し
7月15日	夕刊三重	宝塚1号墳は重要遺跡 明和町の寄宮歴史博物館で「寄宮イブニング講座」に45人参加
7月16日	伊勢新聞	寄宮で平安貴族ファッション展 22日から、自由研究にも
7月22日	夕刊三重	日本遺産をよりメジャーに 観光で勝負できる明和
7月22日	伊勢新聞	第190次調査の発掘現場公開 明和町で24日から
7月23日	中日新聞	日本遺産 文化財をひとつのストーリーでアピール
7月24日	夕刊三重	貴族のセンス分かる 企画展で十二単の衣裳など30点 寄宮歴史博来月31日まで
7月27日	夕刊三重	初期の研究で重要地点 寄宮歴史博物館 史跡第190次調査現場を公開中
7月27日	夕刊三重	沿岸部の遺跡に焦点 明和町が夏休み企画展 来月27日までふるさと会館で
7月29日	夕刊三重	「様な箱庭」テーマに 来月27日に体験講座 いつきのみや歴史体験館
8月3日	夕刊三重	ちょうちんなど準備着々 5日に大庭紙園と花火大会
8月5日	夕刊三重	大庭紙園祭と花火きよう予定通り 荒天中止の場合は顺延
8月6日	中日新聞	明和 大庭紙園祭と花火大会
8月8日	伊勢志摩経済新聞	部分月食、台風のと雲の切れ間から 三重県「さいくう平安の杜」上空で
8月7日	夕刊三重	海上渡御の熱気に歓声 大庭紙園祭と花火、3万人来場
8月11日	伊勢新聞	王朝人の衣裳や寄宮音楽の話も 明和町で20日フォーラム
8月11日	中日新聞	役所、神殿遺構発掘へ 国史跡寄宮跡で調査
8月12日		十二単や襷袢テーマで福臨殿でフォーラム 20日、寄宮歴史博で
8月12日	中日新聞伊勢志摩ホームニュース	23日明和で安全祈禱相模 約400年続く行事 陽志珠院
8月13日	中日新聞	「合わせ貝」に絵描く 親子ら体験講座楽しむ
8月17日	中日新聞	西浦遺跡の発掘初公開 明和で出土品130点余
8月17日	中日新聞	相模で雲巾い安全祈禱 明和の男児が伝統行事
8月17日	朝日新聞	絆やか平安コレクション 寄宮歴史博物館で企画展
8月19日	夕刊三重	発掘や発掘「初めて」の子ども 明和町で子ども川サミット
8月20日	夕刊三重	タカサゴユリ斜面に600株 寄宮調整池で満開
9月2日	夕刊三重	新たに造成坑跡30基 明和町は県内最大敷地 奈良時代、土師器を生産 珍しい二等辺三角形の穴池村の戸塚B遺跡4〜8日に現場説明会
9月3日	中日新聞	平安貴族の秋風情味わう 明和「菊の節句」ちなんだ展示
9月5日	中日新聞	二等辺三角形の竈跡 土師器焼成坑新たに32ヵ所 明和で現場見学会
9月15日	中日新聞	墳丘の公園が完成 坂本古墳群明和に復元
9月15日	中日新聞	七重化竹の魅力発信 竹若舎
9月20日	夕刊三重	かるた大会絶好の地
9月21日	夕刊三重	まちづくりサミット来月18日、明和町で開催 中部地方12市町参加
9月26日	夕刊三重	新米奉納、収穫に感謝 明和町民会発祥地で カケチカラ会が奉納奉告祭
9月27日	中日新聞	寄宮跡 広場や歩道整備 明和町民らの交流拠点に 30日から新たに使用 開
9月28日	夕刊三重	公園2ヶ所、年内完成へ 坂本古墳群を復元史跡公園整備終える
10月1日	中日新聞	寄宮の月見再現 明和
10月2日	夕刊三重	仏像修復など匠の技学ぶ 文化庁、明和町「平安の杜」などで 体験フェアに8400人来場

日付	新聞社	見出し
10月3日	中日新聞	遺物発見で感動を 明和 県内外から発掘体験
10月10日	夕刊三重	山茶わん出土など喜ぶ 倉宮歴史博 一日発掘体験に14人参加
10月19日	朝日新聞	カワードに歴史香る風景 東南4県12市町で発行
10月19日	中日新聞	歴史資産の継承語る 明和 4県12市町「サミット」
10月19日	伊勢新聞	地域振興で意見交換 明和町でサミット 「歴史まちカード」誕生
10月19日	夕刊三重	外国人への観光など強化 まちづくりサミット 明和町で初開催 中部12市町、取り組み話す
10月20日	読売新聞	歴史まちづくり 明和でサミット
11月18日	朝日新聞	旧県立博物館の紛失12点未発見 明和の自治会と和解成立
11月18日	夕刊三重	紛失した文化財、県が賠償 明和町から出土獣形甕など12点 土村自治会と107万円での和解
11月26日	中日新聞	「歴史まちカード」無料配布 倉宮跡の歴史に触れる記念に明和町1万5000枚発行
11月30日	中日新聞	伊勢街道ものがたりウォークラリー
12月6日	伊勢新聞	「結びの皇女節」新発売 倉宮栽培の黒米漬け込む
12月6日	中日新聞	倉宮黒米で健康飲料 明和町振興連協 特産品開発し発売へ
12月21日	読売新聞	黒米・黒酢に漬け込む 明和で「皇女節」発売
12月22日	伊勢新聞	倉宮跡から望む朝顔ヶ岳に日の出 冬至、倉宮以前からの聖地
12月24日	中日新聞	「鬼」に弓矢放ち邪気払う 明和で「追儺のまつり」
12月24日	毎日新聞	新年の幸を祈る 平安の宮中文化 追儺のまつり
12月25日	読売新聞	「なやろう」で災厄払う 「追儺のまつり」
1月1日	夕刊三重	正月特集号 狛犬
1月1日	伊勢新聞	冬至日の出力位と関連か 伊勢神宮や倉宮の立地
1月6日	夕刊三重	坂本古墳群の史跡整備 明和町、20日に報告会 史跡公園オープン記念
1月10日	伊勢新聞	明和町・倉宮歴史博物館初期倉宮の実態解明目指す 発掘現場を公開
1月15日	夕刊三重	日本遺産の町と地元
1月18日	夕刊三重	飛鳥時代の遺構、公開発掘来月26日まで倉宮歴史博物館最初の倉玉通ごす中心地、第192次現場で
1月21日	毎日新聞	史跡公園オープン 明和の坂本古墳群
1月21日	中日新聞	明和・坂本古墳群 史跡公園オープン 3基の墳丘を復元
1月21日	産経新聞	明和・坂本古墳群 史跡公園に オープン記念報告会開く調査員が被害者像解説
1月21日	伊勢新聞	坂本古墳群を史跡公園に 明和町が整備 全国最後の前方後方墳 オープン記念報告会に70人
1月22日	夕刊三重	明和町の坂本古墳群 史跡公園完成を祝う オープン記念整備報告会に50人
1月22日	中日住宅ナビ 住まいと暮らしの最新ニュース	墳丘の公園が完成 坂本古墳群 明和に復元 (三重県多気郡)
1月25日	中日新聞	坂本古墳群
2月1日	夕刊三重	住環境に入る発掘調査
2月2日	夕刊三重	「きれいだが、暗い」の声も… 倉宮の復元建物3棟ライトアップ 明和町、様子確認し検討の方針
2月4日	産経新聞	久留信官衛なぜ東向き 明和・倉宮跡で「倉宮と壬申の乱」シンポ 日本書紀記述に着目し議論
2月5日	夕刊三重	明和町など共同シンポ 壬申の乱との関わり探る 「倉宮跡と久留信官衛遺跡」テーマに
2月14日	伊勢新聞	古墳～飛鳥時代の建物跡発見 17日に現地説明会 明和町の倉宮歴史博

日付	新聞社	見出し
2月16日	夕刊三重	17日に現地説明会 奇宮歴史博物館史跡第192次発掘調査
2月16日	読売新聞	壱穴建物跡発掘 奇宮跡で説明会 あす、明和
2月17日	伊勢新聞	斉藤の由來は奇宮領+藤原 24日から館蔵品展
2月24日	中日新聞伊勢志摩ホームニュース	3日に明和で梅まつり
3月4日	中日新聞	奇宮跡を一望 明和で親子ら熱気球を体験
3月12日	中日新聞	奇王役に津の中保さん 明和 6月のまつりへ選考会
3月12日	夕刊三重	第34代奇王役に中保さん（津市公務員）まつり実行委で決まる「魅力余すことなく伝えたい」
3月12日	伊勢新聞	「余さず魅力伝える」「奇王まつり」の奇王役 中保友里さん（26）津市
3月15日	中日新聞	菜の花畑 一面春色 明和・奇宮跡で見頃
3月26日	夕刊三重	100人の赤ちゃんが熱戦 明和町奇宮でハイハイレースなど
3月27日	夕刊三重	関心高い「奇宮以前」に焦点 歴博で歴史フォーラムとシンポ
3月28日	夕刊三重	いつきのみやの「夢」ワゴン 最優秀に井上さん（明和町上村）奇宮跡観光協

附編.

指定文化財一覧

国指定文化財一覧

種別	名称	員数	時代	所有者等	指定年月日
有 彫	木造諸尊仏像	1 軀	平安	個人	S38. 7. 1
有 考	三重県斎宮跡出土品	2661 点	飛鳥～平安	三重県	H21. 7. 10
記 史	水池土器製作遺跡	1	奈良	明和町	S52. 7. 25
記 史	斎宮跡	1	奈良～平安	明和町ほか	S54. 3. 27
記 天	斎宮のハナショウブ群落	1		明和町	S11. 12. 16

県指定文化財一覧

種別	名称	員数	時代	所有者等	指定年月日
有 工	刀 銘 国山宗次作之	1 口	江戸	個人	S31. 5. 2
有 工	短刀 銘 雲林院政盛作	1 口	室町	個人	S43. 3. 18
有 工	六地藏石幢	1 基	室町後期	中町自治会	S62. 3. 27
有 工	仏通禪師所用法衣並びに伝来什物	一括	鎌倉～江戸	宗教法人安養寺	H29. 2. 2
有 絵	紙本金地著色伊勢物語四六曲屏風	1 双	江戸前期	三重県	H17. 3. 17
有 絵	紙本着色源氏物語色紙貼文二曲屏風	1 双	桃山末・江戸初期	三重県	H17. 3. 17
有 書	斎宮女御集（正殷所蔵本）	1 冊	鎌倉	三重県	H22. 3. 11
有 書	斎宮女御集（資経本）	1 冊	鎌倉	三重県	H22. 3. 11
有 文	紙本着書 聖元大恵印信 附 紙本着書空然印信	25 通	鎌倉	安養寺	S33. 12. 15
有 文	紙本着書 聖安養寺文書	8 通	鎌倉～室町	安養寺	S33. 12. 15
有 文	大淀村二天八王子社神事頭書張	1 巻	室町	竹大与杉神社	S62. 3. 27
有 考	金銅装頭椎大刀	1 口	古墳	明和町教育委員会	H13. 3. 27
有 考	馬形埴輪（石薬師東古墳群 63 号墳出土）	1 点	古墳	三重県	H15. 3. 17
有 考	土偶（粥見井灰遺跡出土）	2 点	縄文	三重県	H16. 3. 17
有 考	雲出島貫遺跡中世墓出土品	36 点	鎌倉	三重県	H17. 3. 17
有 考	初期須恵器・韓式系土器（六大人遺跡出土）	107 点	古墳	三重県	H18. 3. 17
有 考	磨製石斧製作関係資料一括（宮山遺跡出土）	121 点	弥生	三重県	H19. 3. 27
有 考	陶質土器（木造赤坂遺跡出土）	1 点	古墳	三重県	H21. 3. 11
有 考	東条 1 号墳出土品	551 点	古墳	三重県	H29. 2. 2
有 考	天白遺跡出土品	2213 点	縄文	三重県	H00. 2. 16
記 史	坂本古墳群	1	古墳	明和町	H16. 1. 19

町指定文化財一覧

種別	名称	員数	時代	所有者等	指定年月日
有 建	転輪寺表門	1棟	江戸	転輪寺	S56. 10. 27
有 建	転輪寺庫裡	1棟	江戸	転輪寺	S56. 10. 27
有 彫	木造聖観音立像	1幅	平安	豊川自治会	S56. 8. 10
有 彫	木造胎藏界大日如来坐像	1幅	平安	豊川自治会	S56. 8. 10
有 彫	木造阿弥陀如来立像	1幅	鎌倉	納殿寺	S56. 9. 28
有 彫	木造阿弥陀如来立像	1幅	鎌倉	街谷寺	S56. 10. 27
有 彫	木造僧形坐像	1幅	江戸	納殿寺	S58. 1. 25
有 彫	木造阿弥陀如来立像	1幅	室町	円明寺	S58. 1. 25
有 彫	木造獅子頭	1個	室町	久安寺	S58. 1. 25
有 彫	木造不動明王立像	1幅	平安	西光寺	H26. 3. 24
有 工	銅 鐘	1口	江戸	転輪寺	S56. 10. 27
有 文	八木戸庄屋文書	1450点余	江戸	明和町	S56. 10. 27
有 文	佐田村子安地蔵坐像	1巻	江戸	明和町	H4. 7. 17
有 文	郷中十七ヶ条	1巻	江戸	明和町	H5. 12. 21
有 文	北畠具教感状	1幅	室町	明和町	H5. 12. 21
有 考	環状臺形土器	1口	縄文	明和町教育委員会	H6. 9. 27
無 民	前野のお頭神事	—	江戸	前野自治会	S59. 2. 23
無 民	麻生の左義長	—	江戸	麻生自治会	S59. 2. 23
無 民	大淀の紙團祭	—	江戸	明和町大淀 三世古・東区・山大淀	S60. 2. 18
無 民	算所の紙團祭	—	安土桃山	算所共進社	S60. 2. 18
無 民	前野の遠聞行事	—	江戸	前野自治会	S60. 2. 18
無 民	宇爾探神社かんこ踊り	—	江戸	有熊中自治会	S60. 2. 18
無 民	豊村虫送り	—		豊村自治会	H26. 3. 24
記 史	鳥墓神降跡	1		豊村区	S58. 1. 25
記 史	倅子内親王墓	1		個人	S58. 1. 25
記 史	斎王尾野湊御蔵場跡	1		明和町	H7. 3. 17
記 史	陸軍第七通信連隊一二八部隊 防空壕	1	昭和	個人	H28. 3. 23
記 史	小金古墳群 3号墳	1	古墳	明和町	H28. 3. 23

種別左 有＝有形文化財 無＝無形文化財 民＝民俗文化財 記＝史跡名勝天然記念物

種別右 建＝建造物 絵＝絵画 書＝書跡・典籍 彫＝彫刻 工＝工芸品 文＝古文書 考＝考古資料 無＝無形民俗文化財 史＝史跡 天＝天然記念物

各種委員会

当課には、下記の委員会について事務局が置かれている。

- ・明和町文化財保護審議会 ※第2章を参照

- ・明和町歴史的風致維持向上計画協議会（会長：増淵 徹）

委員名簿（平成28年2月1日～平成30年1月31日、平成30年2月1日～平成32年1月31日）

京都橋大学文学部 教授	国史跡斎宮跡協議会 会長	明和町文化財保護審議会 会長
三重大学大学院 工学研究科 准教授	（公財）国史跡斎宮跡保存協会 理事長	明和町文化財保護審議会 委員
三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 課長	明和町観光協会 会長	明和町 副町長
三重県環境生活部 文化振興課 課長	斎宮ガイドボランティア 会長	
三重県県土整備部 都市政策課 課長	史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会 会長	

- ・明和町日本遺産活用推進協議会（会長：寺前 和彦）

構成団体名簿

明和町	明和町観光協会	斎宮ガイドボランティア	斎王の舞保存会
斎宮歴史博物館	斎王まつり実行委員会	明和町特産品振興連絡協議会	呉竹倶楽部
（公財）国史跡斎宮跡保存協会	大淀祭典委員会	明和町郷土文化を守る会	近畿日本鉄道株式会社
国史跡斎宮跡協議会	明和太鼓保存会	明和町緑のまちづくり推進委員会	三重交通株式会社
明和町商工会	明和音頭保存会	史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会	

- ・史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会（会長：永島 喬、副会長：辻 孝雄、堀木 茂）

委員 23名 ※オブザーバー（斎宮歴史博物館、三重県県土整備部景観まちづくり課）

<報告書抄録>

ふりがな	めいわちようぶんかざいねんぼう へいせい29ねんど							
書名	明和町文化財年報 ー平成29年度ー							
編著者名	坂増井 拓志							
編集機関	明和町倉宮跡・文化観光課							
所在地	〒515-0332 三重県多気郡明和町大字馬之上945番地 tel0596-52-7126							
発行年月日	2019年3月31日							
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
北野遺跡 (10次)	金宮宇大頭934番1	442	228	34度 31分 47秒	136度 37分 29秒	2017.4.24	32	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	生産遺跡	奈良	土坑	土師器				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
安養寺跡隣接地	上野宇東ノ垣外414-2	442		34度 31分 53秒	136度 37分 57秒	2017.4.10	3	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
			ビット	なし				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
戸塚B遺跡 (6次)	池村字戸塚212番13カ	442	192	34度 31分 08秒	136度 36分 37秒	2017.5.11 ～ 2017.9.15	1,000	太陽光発電設備設置
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	生産遺跡	奈良	土師器使成土坑、竈穴建物、甕柱建物	土師器、須恵器				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
コドノB遺跡 (5次)	上村字ウシバ1165番2ほか	442	167	34度 31分 30秒	136度 35分 38秒	2017.4.24	2	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
			なし	なし				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
早登遺跡 (2次)	大定宇早登1725-1	442	246	34度 32分 03秒	136度 36分 35秒	2017.4.25 ～ 2017.9.4	80	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	散布地		なし	土師器				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
金剛坂遺跡 (18-1次)	金剛坂宇辰ノ口751-54	442	36	34度 31分 47秒	136度 36分 09秒	2017.5.9	4	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	集落跡		溝	なし				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
金剛坂遺跡 (18-2次)	金剛坂宇辰ノ口751-55	442	36	34度 31分 47秒	136度 36分 10秒	2017.5.18	4	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	集落跡		溝	なし				
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
露城遺跡 (11次)	竹川字南裏202-8	442	207	34度 32分 04秒	136度 36分 35秒	2017.6.27	4	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
			なし	なし				

所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
早登遺跡 (3次)	大宮字早登 1684、1685-1	442	246	34 度 33 分 21 秒	136 度 38 分 58 秒	2017. 11. 10 ～ 2017. 11. 27	150	個人住宅					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									集落跡		方形周溝墓	土師器、石器 片	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
金剛坂遺跡 (18-3次)	金剛坂字沢ノ口 751-53	442	36	34 度 31 分 46 秒	136 度 36 分 10 秒	2018. 1. 19	3	個人住宅					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
											溝	なし	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
金剛坂遺跡 (18-4次)	金剛坂字沢ノ口 751-52	442	36	34 度 31 分 46 秒	136 度 36 分 10 秒	2018. 2. 2	5	個人住宅					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									集落跡	弥生	方形周溝墓	弥生土器 (壺)	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
城塚遺跡 (5次)	上村字城塚 1246 番 1	442	170	34 度 31 分 38 秒	136 度 35 分 49 秒	2017. 12. 4 ～ 2017. 12. 6 2018. 2. 9 ～ 2018. 2. 16	1322	太陽光発電					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									城館	中世	土塁	なし	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
五反田遺跡隣接地	有賀中字五反田 167 番地ほか	442		34 度 31 分 15 秒	136 度 37 分 28 秒	2018. 3. 13 ～ 2018. 4. 18	120	商業店舗 建設					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
											なし	土師器	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
金剛坂遺跡 (18-5次)	金剛坂字古垣内 780 番 3	442	36	34 度 31 分 53 秒	136 度 36 分 17 秒	2018. 3. 22	3	個人住宅					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
											なし	なし	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
明星牛場 B 遺跡 (1次)	明星牛場 2195 番 2	442	531	34 度 31 分 41 秒	136 度 38 分 48 秒	2018. 3. 28	3	携帯電話 基地局設 置					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
											なし	なし	

明和町文化財年報

—平成 29 年度—

発行年：平成 31 年（2019）3 月 31 日

編集：明和町斎宮跡・文化観光課

発行：三重県多気郡明和町